

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本3月景気ウォッチャー調査)



〇概況

- ◆ 3月景気ウォッチャー調査、現状判断・先行き判断DI共に50を下回る
- ◆ 現状判断、個人消費の鈍さが窺える
- ◆ 先行き判断、人手不足のほか米中貿易摩擦を懸念する声が寄せられた

- ✓ 3ヶ月前と比較した景気現状判断DIは48.9(2月48.6)と上昇したが、基準値である50.0を3ヶ月連続で下回った。また、2～3ヶ月先の見通しである先行き判断DIは49.6(2月51.4)と低下し、50を下回った(2017年4月以来)。
- ✓ 景気ウォッチャーの見方は、「緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、人手不足、コストの上昇、海外情勢等に対する懸念もある一方、引き続き受注、設備投資等への期待がみられる」とまとめられた。
- ✓ 家計動向関連では、「生鮮食料品の動きは良くなってきたが、それ以外の食料品関係に値上げがあったため、動きが悪い(スーパー)」など個人消費の鈍さが窺えた。
- ✓ 先行きについては、「米国の通商政策などにより、株価が下がることが予想され、富裕層の購買意欲が低迷する(百貨店)」と現況の米中貿易摩擦への懸念が示された。また「求人は多いものの、人材が集まりにくい(人材派遣会社)」と引き続き人手不足を指摘する声が聞かれた。

【景気ウォッチャー調査の推移】



出所: IN情報センター

【景気現状判断DI(季節調整済)】

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前月差
合計	52.0	54.1	53.9	49.9	48.6	48.9	+0.3
家計動向関連	49.6	52.7	52.3	47.8	47.0	47.7	+0.7
小売関連	49.5	52.6	52.5	47.1	45.9	46.6	+0.7
飲食関連	44.0	51.3	51.1	46.7	47.3	46.2	▲1.1
サービス関連	50.2	53.5	52.2	49.2	48.8	49.8	+1.0
住宅関連	54.0	51.4	52.8	48.8	49.3	49.5	+0.2
企業動向関連	55.8	55.3	55.7	52.6	50.3	50.0	▲0.3
製造業	55.3	54.8	56.9	52.3	49.4	49.6	+0.2
非製造業	56.2	55.8	54.5	53.3	51.5	50.6	▲0.9
雇用関連	59.1	61.3	60.7	57.9	55.2	54.8	▲0.4

【景気先行き判断DI(季節調整済)】

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	前月差
合計	54.5	53.4	52.7	52.4	51.4	49.6	▲1.8
家計動向関連	53.8	52.6	52.0	51.8	50.8	49.1	▲1.7
小売関連	53.2	52.5	50.7	51.5	50.0	48.1	▲1.9
飲食関連	53.1	51.3	54.2	49.4	52.4	50.5	▲1.9
サービス関連	55.0	52.8	53.7	52.9	52.1	50.5	▲1.6
住宅関連	54.8	54.3	52.4	52.4	51.5	50.0	▲1.5
企業動向関連	55.7	53.0	52.4	53.0	51.8	50.1	▲1.7
製造業	56.7	55.0	53.8	53.7	51.6	49.9	▲1.7
非製造業	55.1	51.9	51.5	52.7	52.2	50.4	▲1.8
雇用関連	56.5	59.2	58.1	55.1	53.8	52.4	▲1.4

【出所】内閣府、IN情報センター

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。